

4. 介護ロボット及び介護支援機器・福祉用具の使用法（手順チェックリスト）

2) 移動・移乗スライディング用具

(1) 移動・移乗スライディング用具の種類と適用および日常点検

種類	特徴	適用	
スライディングシート	円筒型	滑りの良い布が筒状に縫われている。布どうしがキャタピラのように回転することで、小さな力で身体を移動させることができる。 薄いタイプとキルティング加工され厚みのあるものがある。薄いものは体位変換しなくても体の下に敷きこんだり、引き出したりが容易にできる。キルティングはクッション性があるため、移乗介助の時にベッドと車いすやストレッチャー間の高低差からくる衝撃を緩和させることができる。	ベッドや車いす上での身体の移動や移乗介助に活用できる。臥位だけでなく、座位でも活用可能である。 褥瘡のある場合は、その箇所を摩擦しないよう注意が必要である
	一枚形	2枚に折って使う。使用場面によってサイズや折りたたみ方を変化させて使うことが可能。	
	円筒型の中に、もう一枚シートが挟まっているもの	非常によく滑る。上下左右斜めと様々な方向に滑らすことが可能である。滑りすぎることで衝突や転落の危険がある場合もあり、力加減に注意が必要。	ベッド上での身体の移動に用いる。移乗介助には適さない。 褥瘡のある場合は、その箇所を摩擦しないよう注意が必要である。
	取っ手がついているもの	取っ手を持つことで、シートを動かしやすい。 シートが縫い合わされおり、シートどうしが滑るのではなく、シートとマットレスもしくはシートと身体との間が滑る仕組みになっている。	主に、水平移動や臥位姿勢での移乗に用いられる 褥瘡のある場合は、その箇所を摩擦しないよう注意が必要である。
スライディングボード	平らな板状のもの	長方形型、楕円形型、ブーメラン型などがある。板に体をのせ、板の上を滑らせて移動できる。ベッドと車いす、ベッドとストレッチャーの間に橋をかけるように板をのせ、その上を滑ることによって、移乗を容易にする	主にベッドと車いすの移乗に用いられる。そのため、①自立して端坐位の保持が可能な人、②介助バーなどにつかまりながら、端坐位の保持が可能な人、③介助者の軽い支えによって、端坐位の保持が可能な人が使用に適している。
	板の一边が折れ曲がっているもの	ボードの長辺の一方が上方に折れ曲がっている。車いす移乗のときに車いすの後輪に体がぶつからないよう保護し、滑りを助ける役目を果たしている。	
	折りたたみできるもの	持ち運びが容易である	
ローラーライド	筒状のスライディングシートの中に支持性のあるボードが挟まっている。ボードの周囲を布が回転することによって小さな力で、身体の移動を可能にする。またボードがあるので、ベッドとストレッチャーもしくはベッドとリクライニング車いすの間の小さな隙間や凹凸を気にせず、安楽に移乗することができる	座位保持が困難で、臥位での移乗が望ましい人に適している	

日常点検項目

スライディングシート	
1	シートの縫い目のほつれ、布の裂け目等がないか
2	重なるシートどうしの滑りが低下していないか（布地やコーティング剤の劣化がないか）
スライディングボード	
1	ボードにひび割れ、欠損がないか
ローラーライド	
1	シートの縫い目のほつれ、布の裂け目等がないか
2	ボードにひび割れ、欠損がないか
3	滑りが低下していないか（布地やコーティング剤の劣化がないか）

【引用文献】

市川 洵，松本 多正，滑らせる技術検討会，滑らせる介助の技術 スライディングシート・トランスファーボードの使い方，26頁－28頁，31頁－33頁，中央法規，2014